

第2部 車座トーク



空き家問題

市民からの意見

相続人がわからない空き家が多くなって問題になっている。空き家の調査プロジェクト事業が必要ではないか？（大野）

議会コメント

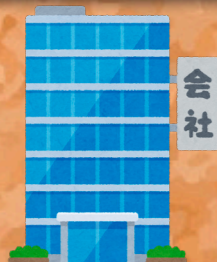
3度の震災を受け、劣化した空き家が危険な状態となっています。現在、罹災証明書で半壊以上の判定となった建物については公費で解体していますが、所有者が複数であったり、不明な場合などは事業の適応とならず、危険な状態が解消していないことは把握しています。今後、民間の空き家の諸問題に対して、何かできることはないか議会として研究してまいります。



企業誘致

市民からの意見

若い人が働く場所が必要、優良な企業の誘致をしてほしい！（大野・磯部）



議会コメント

市はこれまでも優良な企業の誘致を進めており、議会としても協力しています。今後も優良な企業を誘致できるよう尽力してまいります。

JRの利便性向上

市民からの意見

JRの利便性（相馬駅みどりの窓口の再整備・ダイヤ改正・相馬駅東口の設置等）を向上してほしい！（大野）

議会コメント

JRの問題については、議会において、「基幹交通網の整備促進に関する特別委員会」を設置し、調査・研究しています。今後も市民の声を踏まえ、利便性向上に取り組んでまいります。



第7回議会報告会 レポート

～みんなで考えよう あったらいいね こんな相馬～

第7回目となる今回の議会報告会は、玉野地区・大野地区・磯部地区の3会場で同日開催いたしました。新型コロナウイルス感染症の5類引き下げに伴い、制限なしでの開催となりました。「みんなで考えよう あったらいいね こんな相馬」というサブタイトルで市民とともに考え、今後の相馬について話し合うことを目的とし、テーマを敢えて設けず、膝と膝を付き合わせるイメージの車座トークを実施いたしました。

このレポートでは、各会場での主な意見、質問を紹介いたします。これらの市民の皆さまの声を議会への提案と捉え、議論を交わし、今後の議会活動に活かしていきたいと考えています。

今回は参加できなかったとの声も届いておりますので、参加者アンケート等も参考に今後も議会報告会開催に向けて工夫してまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。（相馬市議会議員一同）

第1部 令和5年度事業の紹介

第1部は、5月1日発行の議会だより第147号で掲載した新年度事業の紹介として、「移住者の住宅取得支援に係る経費」・「都市計画基本図・地形図の作成に係る経費」・「結婚新生活支援に係る助成金」について、報告しました。

事業の詳細については、議会だより第147号をご覧ください。



市民からの意見

移住者の住宅取得支援に係る経費について

この事業を県外の人にどのように発信・広報するのか？（磯部）

議会コメント

相馬市のホームページで発信・広報しています。また、令和5年2月にそうま移住定住総合窓口を開設し、対面や電話、メールでの相談だけでなく、ZOOMを活用したオンライン相談もできるような体制を整えています。

議会コメント

この内容については、山中宣明議員が一般質問を行っています。12、13ページの上段に掲載していますのでご覧ください。

市民からの意見

都市計画基本図・地形図の作成に係る経費について

この事業はどんな効果をもたらすのか？（玉野）

市民からの意見

結婚新生活支援に係る助成金について

助成金の対象者に婚姻日の年齢を設定しているのはなぜか？（大野）

議会コメント

この事業は地域少子化対策の国の施策によるものであるため、対象者についても国の規定を基に設定しています。

その他のご意見・ご質問

- ・福島県沖地震で道路に段差ができたが改善されていない。(大野)
- ・地震被害の復旧作業(道路等)について、しっかりと住民説明を行い、生活や商売、観光に最低限影響のないように配慮すべき。(磯部)
- ・令和元年の台風で破損した初野・黒木地内小泉川上流の橋について、欄干もなくなり危険なため修繕をすべき。(大野)
- ・道路ののり尻の雑草について、もう少し県や市などで草刈りなどの手入れができないのか。(大野)
- ・県河川工事で河川堆砂を運搬するダンプの往来増による道路のわだちがひどい。事業終了後に道路舗装の修繕をしてほしい。(大野)
- ・学区を自由にしてほしい。(磯部)
- ・山村留学制度を実施して自然豊かな地域で学ぶ機会を増やしてはどうか。(磯部)
- ・子どもたちの相馬への郷土愛が薄いとを感じる。行政と民間が協力して、相馬から離れても、相馬のために何かしたいと思えるような教育が大事ではないか。(磯部)
- ・移住者に対して支援金の拡充や、市独自の支援策を設けて他地域との差別化を図ってはどうか。(大野)
- ・住民を増やすために、無償住宅の提供などの大胆な政策が必要である。住宅を提供して幼稚園、小中学校まで通える移住政策はできないのか。(磯部)
- ・婚活支援をしていくべき。(磯部)
- ・市内に産婦人科医がいないことは大きな問題である。(磯部)
- ・耕作放棄地が多いため、しっかりと対応していただきたい。(磯部)
- ・市の物品入札においてできるだけ市内業者を利用できる仕組みが必要ではないか。(磯部)
- ・玉野地区に整備しているメガソーラーの固定資産税を玉野の振興に使ってほしい。(玉野)
- ・玉野地区で介護サービスを行ってくれる相馬市の事業所がない。伊達市の事業所を利用しているという状況を改善してほしい。(玉野)
- ・区長以外の方も参加するような議会報告会にしてほしい。(玉野)
- ・議会報告会で出された住民意見のその後について報告がほしい。(玉野)

今後もいただいたご意見等を踏まえ、よりよい相馬市を目指して取り組んでまいります！！



玉野地区の地域振興

市民からの意見

民間事業者によって、旧玉野小学校を利用したウイスキー蒸留所ができるが、その支援をお願いしたい。特に原料となるトウモロコシ畑の基盤整備をお願いしたい！(玉野)

議会コメント

基盤整備については、個人の財産であるため、行政が先頭に立つて行うのは難しいと考えていますが、今後、支援策等の研究を進め、よりよい事業となるよう地域の皆さまと協力してまいります。

市民からの意見

玉野ため池北側の道路の拡張などをお願いしたい！(玉野)

議会コメント

玉野地区の道路整備については、浦島勇一議員が一般質問を行っています。14、15ページの下段に掲載していますのでご覧ください。



少子化問題

市民からの意見

磯部小学校の現在の児童数は19名となっており、来年には14名になる予定である。今後の児童数の減少についてどう考えているのか？(磯部)

議会コメント

議会としても、各地区で少子化が進み、磯部地区だけの問題ではないことを認識しています。子どもたちの可能性、選択肢を増やしていくことは大事なことであり、他自治体の事例等を研究し、また、保護者や地区の方々の意見を伺いながら、今後について一緒に考えてまいります。

